

▶!シン尾花沢中

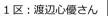
第99号

令和7年 10月6日

心ゆたかに たくましく 理想をうたう わが学園

挑戦!~自分を知り、一歩を踏み出せた県中学校駅伝大会~







2区:阿部寛花さん



3 区:高橋夏菜さん



4区:黒山亜咲さん



5区:渡辺叶愛さん

10月4日(土)、県総合運動公園(NDソフトスタジアム)内周回コースで、県中学校駅伝 競走大会が行われ、本校女子駅伝チームが北村山地区代表として出場しました。

5月1日(木)の北村山中学校長距離記録会で出場を決めてから、部活動はもちろん、部活 動がない日も、グラウンドで自主練習にコツコツと励む姿を、私は見てきました。

しかし、直前のけがや体調不良により、チームとしてのコンディションは万全とは言えない 状況であったと聞いていました。選手たちは、「最後までたすきをつなぐ」ことを再確認し、声 を掛け合ってこの難局を乗り切ろうとしていました。

| I | 時、スタート。 | 区 (3km) を、渡辺心優さんが走ります。 2区 (2km) は阿部寛花さ ん。3区(2km)は高橋夏菜さん。4区(2km)は黒山亜咲さん。けがで出場できなかった。 菅野音桜さんが走り終わった仲間とともに必死に声援を送ります。そして、5区(3km)は、 唯一の3年生、渡辺叶愛さんが2人を追い抜き、ゴールしました。目標であった「最後までた すきをつなぐ」ことができたのです。選手の表情は達成感で満ちあふれていました。

私たちは、どうしても自分(たち)の土俵で戦いがちです。安全だからです。しかし、人と して成長するためには、自分(たち)の土俵の外で戦うことも必要です。すなわち、自分(た ち)のカ以上のライバルと戦うということです。「挑戦」ともいえるでしょう。圧倒的な力の差 を感じ、自分(たち)の現在の力を「知る」のです。優勝した山形市立第十中学校をはじめ他 学校の強さを実感でき、選手の皆さんにとっては、とてもいい経験であったと思います。

大切なのはこれからです。**現状を知り、一歩を踏み出す**ことが求められているのです。

寛花さんが、ゴール後に笑顔で「楽しかった~。来年も出場したい~」と言っていました。 それに対し、2年生3人が「大丈夫。5人そろっているから、来れるよ」と答えていました。 私は、1・2年生が次の一歩を踏み出してくれることを確信しました。

女子駅伝チームの皆さん、お疲れ様でした。そして、感動をありがとうございました。

【文責:校長 工藤雅史】